

令和7年度 浦安市立富岡中学校 第3回 学校地域連携運営協議会

日時 令和7年12月4日（木）15時30分～17時30分

場所 富岡中学校図書室

出席者 委員10名（欠席者1名）

関係者7名（生徒会担当教員、後期生徒会本部役員6名）

- 次第
- 1 会長挨拶
 - 2 校長挨拶
 - 3 代表生徒との懇談
 - (1) 学校の様子と生徒会活動について
 - (2) 学校と地域の連携について
 - 4 第2回協議内容の確認
 - 5 学校の取組と今後の予定
 - 6 協議
 - (1) 学校行事について
 - (2) その他
 - 7 その他
 - (1) 「千葉県地域連携のススメ」について
 - (2) 「学校地域連携協議会委員に係る確認書」について
 - (3) 次回の開催日について

1 会長挨拶（遅れて参加のため省略）

2 校長挨拶

●先々週にインフルエンザによる学級閉鎖があったものの、現在は収まり、学校行事も滞りなく実施。

3 代表生徒との懇談

(1) 学校の様子と生徒会活動について (2) 学校と地域の連携について

●学校の様子と取組み、課題、意見要請（生徒会から）

①挨拶運動

- ・挨拶を返してくれる生徒の割合が50%を下回っている。（昨年度70%前後）
- ・特に部活動に所属していない生徒の挨拶が少ない傾向にあると思われる。
- ・「ぴかるん」と共に挨拶運動を行い、生徒と生徒会の距離を縮めることを目指す。
 - ・「ぴかるん」＝生徒会本部公式キャラクター
- ・地域の方々に挨拶運動を周知するため、垂れ幕を作っていたきたい。
 - ・スローガン「挨拶を日常に」と「ぴかるん」をあしらった垂れ幕

②トイレ手洗い場の利用状況

- ・女子トイレの鏡の前で生徒が滞留してしまう課題がある。

③マナーロード

- ・職員室前の廊下「マナーロード」での騒がしさが課題である。
- ・生徒集会で「マナーロード」で声かけに協力した生徒をMVPとして表彰した。
- ・集会後に声かけをする生徒が増え、改善傾向にあり、MVP表彰は今後も継続予定である。

④黙働清掃

- ・黙働できずに時間内に清掃が終わらず、次の活動に影響が出ている。
- ・美化委員による呼びかけは効果が薄く、中央委員会に議題として取り上げる予定。

⑤富中フェスティバル（新規の行事として計画案を作成中）

- ・目的・・・①地域の活性化に貢献し、応援される学校にする。

- ②学校を活性化させる
- ③学年間の交流を深め、一致団結して行事に取り組める学校にする。
- ④次年度入学する6年生に富岡中学校の魅力を知ってもらう。
- ・対象・・・富岡中学校の生徒・保護者、東野小学校・富岡小学校の6年生、地域の方々。
- ・内容・・・各学級で企画する。予算を使わない方向で検討中。

●委員から

①挨拶運動

- ・生徒一人ひとりの名前を呼んで挨拶すると返答率が向上するのではないか。
(校外での名前呼びはプライバシーに配慮が必要)
- ・挨拶しない生徒の心理的背景(朝の元気のなさなど)を分析し、対策を検討するとよい。
- ・日本人全体が挨拶に慣れていないという視点で、挨拶の意義を深掘りする議論するとよい。

②トイレ手洗い場について

- ・滞留の原因が身だしなみなのか、必要以上の滞留なのかを議論するとよい。
- ・肯定的なメッセージを貼れば効果が期待できる。
「いつもきれいに使ってくれてありがとうございます」
「次の人のことを考えて早くに済ませてくれてありがとうございます」など。

③マナーロード

- ・VP表彰など、ゲーム性を取り入れた改善策が素晴らしい。

④黙働清掃

- ・清掃の目的を生徒が理解することが重要。
- ・美化コンクールのような清掃状況を評価・表彰するゲーム性の導入も一案である

⑤富中フェスティバル

- ・非常に素晴らしい企画であり、ぜひ実現してほしい。
- ・他校の生徒会との交流し、文化祭事例などを参考にするなど連携を深めるとよい。
- ・お金をかけずにできる内容から始める工夫が必要である。
- ・小学校やPTA、OBなどに協力を募り、地域全体を巻き込むことも重要である。

⑥課題全体についての提案

- ・「ぴかるん」の活用を垂れ幕以外(人形、カードなど)にも広げるとよい。
- ・生徒への周知と協力の促進が必要である。
- ・一方的な説明だけでなく、アンケートやクラス単位での対話を通して、生徒たちが課題を「自分ごと」として捉え、自発的な協力を促す工夫が必要である。
- ・一度にいくつものテーマで議論するのではなく、月ごとや四半期ごとなどに集中的に一つのテーマに取り組むなどの工夫をするとよい。

●校長から(生徒退出後)

- ・役員から「行事だけでなく、日常生活をしっかり行いたい。」という発言があった。
→校長も「全てにおいて日常生活の基盤が重要だと考えている。」と伝えた。
- ・全ての活動を役員が行うのではなく、関係する委員会や部活動にまかせたり、教員や地域住民に相談して行うことで学校がさらに活性化していくことを伝えた。
- ・今まで以上に情報発信を行い、生徒や教職員全体に活動内容や成果を周知するよう促した。
- ・役員内で校則に対する考え方が違っており、ぜひ話し合いの場を設けてほしいと伝えた。
→考えを統一するのではなく、考えを深めてほしい。
- ・挨拶の学年別の傾向を分析したり、挨拶の質を高める努力をしてほしいと伝えた。

4 第2回協議内容の確認

- ・文書による内容を確認

5 学校の取組と今後の予定

- ・「学校だより」は保護者だけでなく、生徒へのメッセージも掲載することにした。

- ・「部活動」ではテニス部の活躍が顕著であり、強豪校を破って優勝した大会もあった。
- ・警察や防犯ステーションの協力を得て、実践的な「不審者対応訓練」を2回行った。
 - ・8月に教員対象、11月に生徒・教員対象の訓練を、緊張感の中で行った。
- ・2年生が山梨・長野方面で「林間学校」を、1年生が東京下町で「校外学習」を行った。
- ・地域と連携して「福祉教育講演会」「社会人キャリア教育授業」「ラグビー教室」を行った。
 - 今月からエコキャップ回収活動を行う。
- ・来年度から特別支援学級に「情緒学級」が開級する予定である。
- ・市指定の「個別最適・協働的な学び」について3年間の研究の成果を11月に発表した。
- ・12/12(金)の授業参観への参観、3/12(木)の卒業証書授与式への出席を口頭で依頼した。

6 協議

(1) 学校行事について

①公開授業研究会

- ・授業を参観し、教員の指導力が向上していることが伺えた。
- ・多くの地域住民に見てほしい。

②草刈り作業・境川クリーン作戦

- ・夏前に作業時期を早める。
- ・運動会の前後に位置付けることで、より多くの参加者を募れる可能性がある。
- ・地域住民と生徒が交流する貴重な機会である。

③合唱コンクール

- ・1年生から3年生までの成長が見られ、感動的だった。
- ・生徒たちの表現力と達成感を評価できる。

(2) その他

- ・司書によるテーマに沿った書籍の展示や、生徒たちの読書意欲を高める工夫がある。
 - 生徒の成長に大きく貢献していると評価できる。
- ・外部からの電話の問い合わせに対する要望がある。
 - ・担当部署間での情報共有を徹底し、迅速かつ的確な回答ができる体制をとってほしい。
 - ・講師の来校・退校時間など、基本的な情報はすぐに答えられるようにすべきである。
 - 若手教員からも要望があり、電話対応や保護者対応に関する研修を行う予定である。

7 その他

(1) 「千葉県地域連携のススメ」について

- ・教頭より説明

(2) 「学校地域連携協議会委員に係る確認書」について

- ・教頭より依頼

(3) 次回の開催日について

- ・令和8年2月13日(金) 19:00～に変更